

機器利用技術講習会のご案内

【高速液体クロマトグラフ (HPLC)】

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

- ◆日 時：平成25年2月8日(金) ① 9:45～ ② 13:45～
平成25年3月1日(金) ③ 9:45～ ④ 13:45～
各コース(①～④)の講習時間は約2時間です。

- ◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所(和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518)
当日は、講習開始時間前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

- ◆定 員：各コース(①～④)とも3名まで
※ 受講者は先着順で決定します。(受講票は発行いたしません)
※ 定員を超えたときは、お断りする方のみご連絡いたします。
※ 各コースの講習内容はすべて同じです。複数回のご参加はご遠慮ください。
※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます(無料)。

- ◆費 用：無料

- ◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課
※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。
メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信にて受付をお知らせします。
なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

- ◆対象機器：高速液体クロマトグラフ(簡易型)
高速液体クロマトグラフは、高圧ポンプを用い、溶媒(移動相)を高い流速で分離カラム(固定相)を通過させることにより、分析対象物を分離・分析する装置です。分析対象物の分離は、移動相と固定相双方への親和性の違いによりなされます。本手法では、分離された各物質は比較的シャープなピークとして検出されるため、分離能が高く、感度もよいという特徴があります。測定時間および感度は、測定物質および測定パラメータによって大きく変わりますが、一般的には一測定あたり数分～数十分、定量感度はppmオーダーです。また、適切な分離カラム、移動相、検出器を選択することで、さまざまな物質の分離分析を行うことができます。近年では、分離カラムにODS(オクタデシルシリル基)で修飾したシリカゲル微粒子を用いた逆相モードが主流になっています。このような特徴を有するHPLCは、化学、製薬、環境などの分野で、品質管理、製品開発などに広く用いられています。
本講習会では、装置の概要(装置構成、仕様など)について簡単に説明した後、実際の分析の一例としてODSカラムを用いた水溶性有機化合物定量についての実習を行います。

- ◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 (TEL: 0725-51-2518)
化学環境科 中島 陽一、小河 宏

